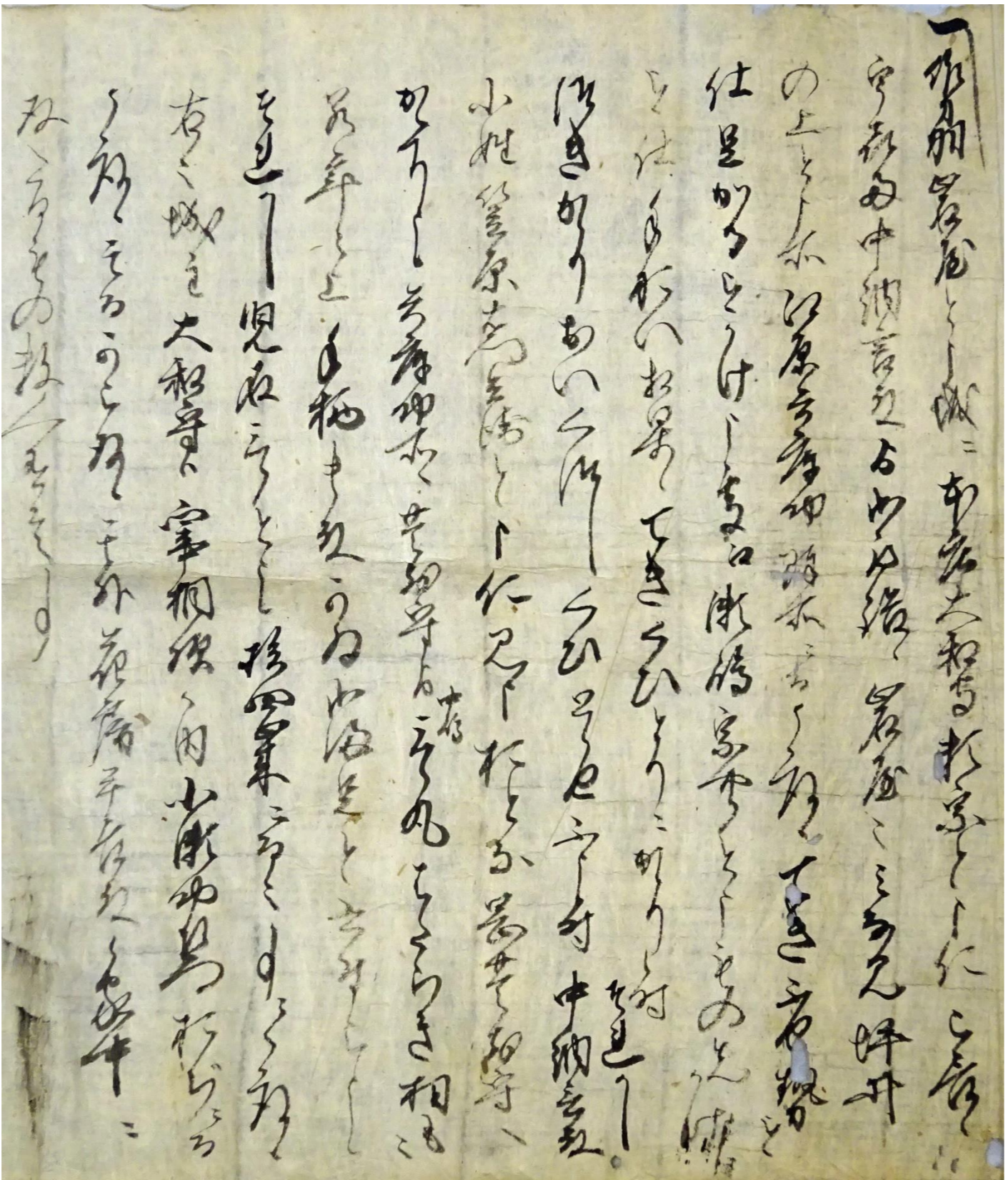


| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|-----|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一 | 作 | 州 | 岩 | 屋 | と | 申 | 城 | 二 | 本 | 庄 | 大 | 和 | 守 | 頼 | 宗 | と | 申 | 仁 | 被 | 居 | 候 | 、 |
| 宇 | 喜 | 多 | 中 | 納 | 言 | 殿 | 方 | 御 | 取 | 詰 | 候 | 、 | 岩 | 屋 | 之 | ミ | な | み | 坪 | 井 | 、 | |
| の | 上 | と | 申 | 所 | 、 | 江 | 原 | 兵 | 庫 | 助 | 陣 | 所 | 二 | 而 | 御 | 座 | 候 | 、 | て | き | ふ | せ |
| 仕 | 、 | 足 | か | る | を | か | け | 申 | 処 | 江 | 、 | 瀬 | 島 | 宗 | 四 | 郎 | と | 申 | も | の | 先 | か |
| を | 仕 | 、 | 手 | お | い | 相 | 果 | 候 | 、 | て | き | く | ひ | と | り | 二 | か | 、 | り | 候 | 時 | 、 |
| (徒) | つ | き | か | 、 | り | お | い | く | つ | し | 、 | く | ひ | と | ら | せ | 不 | 申 | 候 | 時 | 、 | 中 |
| 小 | 姓 | 笠 | 原 | 右 | 衛 | 門 | 兵 | 衛 | と | 申 | 仁 | 見 | 申 | 、 | お | と | な | 岡 | 豊 | 前 | 守 | へ |
| か | た | り | 申 | 候 | 、 | 兵 | 庫 | 助 | 所 | へ | 豊 | 前 | 守 | 方 | 中 | 島 | 三 | 郎 | 丸 | は | た | ら |
| 若 | 年 | 之 | 上 | 、 | 手 | 柄 | 貴 | 殿 | 可 | 為 | 御 | 満 | 足 | と | 書 | 付 | 被 | 申 | 候 | 、 | は | た |
| そ | れ | (連) | か | (可) | し | 児 | 名 | 三 | 郎 | と | 申 | 拾 | 四 | 歳 | 二 | 而 | 之 | 事 | 二 | 御 | 座 | 候 |
| 右 | 之 | 城 | 主 | 大 | 和 | 守 | ハ | 、 | 宰 | 相 | 様 | 御 | 内 | 小 | 瀬 | 助 | 左 | 衛 | 門 | お | ぢ | 二 |
| 御 | 座 | 候 | 、 | 定 | 而 | 可 | 被 | 存 | 候 | 、 | 其 | 外 | 花 | 房 | 平 | 吉 | 殿 | 御 | 家 | 中 | 二 | |
| 存 | た | る | も | の | 数 | 人 | 有 | 之 | 候 | 事 | | | | | | | | | | | | |



【意訳】

一作州(美作国)の岩屋と申す城に本庄大和守頼宗と申す人が居られました。宇喜多中納言殿(秀家)より(岩屋城を)お取り詰めになりました。岩屋城の南、坪井の上と申すところは、江原兵庫助(親次)の陣所でございます。敵が伏せ勢をして足軽を掛け申しているところへ、(宇喜多家臣の)瀬島宗四郎と申す者が先駆けをして(攻めかかったものの)、手負いして相果てました。敵が(討死した瀬島宗四郎の)首を取りに飛び掛かってきました時、それがし(中島政家)が突きかかり、(敵を)追い崩し、(瀬島宗四郎の)首を取られました(江原兵庫助親次)のところへ(豊前守(岡豊前守家利)より「中島三郎丸の働きはさてもさても若年のうえでの手柄、貴殿(江原親次)も御満足のことでしよう」と書付を送って申されました。それがしは児名(若いころの名)を三郎と申しました。十四才になったころのことでございます。

右の(岩屋)城主大和守は、宰相様(池田忠雄)の御内(ご家来)の小瀬助左衛門の叔父でございます。定めて存じられているでしょう。そのほか花房平吉殿のご家中に(この戦いのことを)存じている者が数人いると思っております。

【言葉・固有名詞の解説】
 岩屋城：津山市中北上にある山城。
 頼宗：一般的には中村頼宗の名で知られる人物。小瀬助左衛門の叔父。毛利氏に味方して宇喜多氏に抵抗していた。
 宇喜多中納言殿：宇喜多秀家(一五七二～一六五五年)のこと。備前・美作ほか48万石余の大名。岡山城主。
 江原兵庫助：江原親次(？～一五九八年)のこと。宇喜多氏に味方する領主で岩屋城には

ど近い篠茸城(真庭市大庭)の城主。この時点での中島政家の直接の上司。
 岡豊前守：岡家利(？～一五九二年)のこと。宇喜多氏の宿老でいわゆる宇喜多堤に関与したとされる人物。
 宰相様：池田忠雄(一六〇二～三二年)のこと。はじめ淡路の領主、後に岡山藩主。参議の官職を持つので宰相と呼ばれた。
 伏せ勢：伏兵のこと。
 取詰：包围して追い込むこと。城攻めを指す。この岩屋城攻めは天正十二年(一五八四)に行われた。